

うべ ECO チャレンジ (えーこっちゃ)
[宇部市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)]
令和3年度の実績結果

1 新しい算定方式による温室効果ガスの排出量の結果

	令和2年度	令和3年度	発生源
CO2(二酸化炭素) (エネルギー起源)	23,839	19,572	燃料の燃焼、電気の使用
CO2(二酸化炭素) (非エネルギー起源)	13,782	14,245	廃プラスチック類の焼却
CH4 (メタン)	491	490	下水の処理、浄化槽による処理、ごみの焼却、自動車の走行
N2O (一酸化二窒素)	1,869	1,847	ボイラー、ディーゼル機関による燃焼、自動車の走行
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	5	6	カーエアコンの搭載台数
合計	39,986	36,160	

(t-CO2)

結果

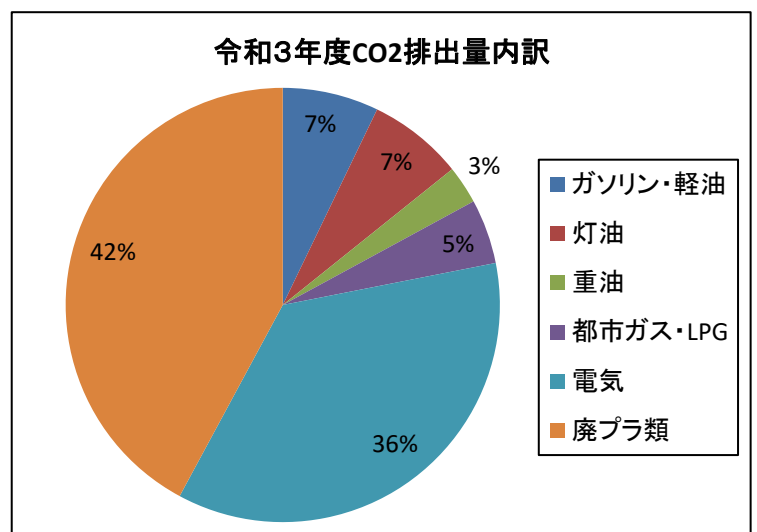
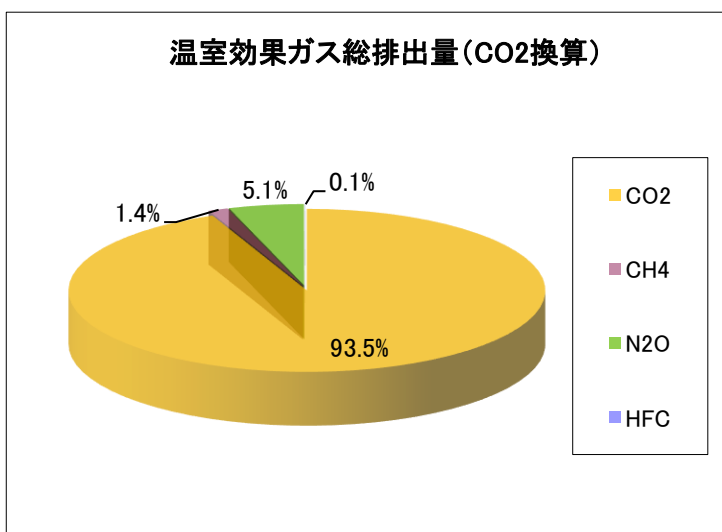
9.6% 削減

電気使用量とCO2排出係数及びCO2排出量の年度比較

		中国電力(株)	うべ未来エネルギー(株)	(株)ESS	丸紅新電力(株)	計
電気 使用量 (kWh)	令和2年度	23,333,852	6,249,692	498,904	348,724	30,431,172
	令和3年度	19,363,532	11,036,340	527,192	322,522	31,249,586
算定に使用した CO2基礎 排出係数 (t-CO2 /kWh)	令和2年度	0.000561	0.000561	0.000634	0.000308	
	令和3年度	0.000531	0.000134	0.000538	0.000379	
CO2 排出量 (t-CO2)	令和2年度	13,090	3,506	316	107	17,020
	令和3年度	10,282	1,479	284	122	12,167
	令和2年度 -令和3年度	2,808	2,027	33	-15	4,853

【分析結果】

令和2年度と比較するとコロナ禍における施設利用等の制限も緩和傾向にあり、小中学校の登校日も多かったため、エネルギー使用量を削減できたのは、ガソリンだけであったが、温室効果ガス排出量は9.7%削減された。
 この削減は、CO2排出量の削減であり、主に電気の使用に伴うCO2排出量削減分(約4,800t-CO2)である。しかしながらこの要因は、令和2年度から電力供給を開始したうべ未来エネルギー(株)の供給量が倍増した上、同社の排出係数が中国電力(株)の排出係数の1/4以下であったことによるものであり、電気使用量は微増している。
 コロナ禍が収束していくと、その反動としてエネルギー使用量が増加し、温室効果ガス排出量が増加することが懸念されるため、これまでに培ったノウハウと、職員の省エネ意識により排出量を削減できるよう努めることが必要である。



本市の事務事業における温室効果ガス排出量の93.5%を占めるCO2の組成を見ると、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックの焼却によるものと他人から供給された電気の使用によるものが大きな割合を占めている。CO2排出量削減のためには、各公共施設において、省エネに向けた設備更新や運用対策などの取組の実施が必要不可欠である。

2 温室効果ガス削減のための取組の結果

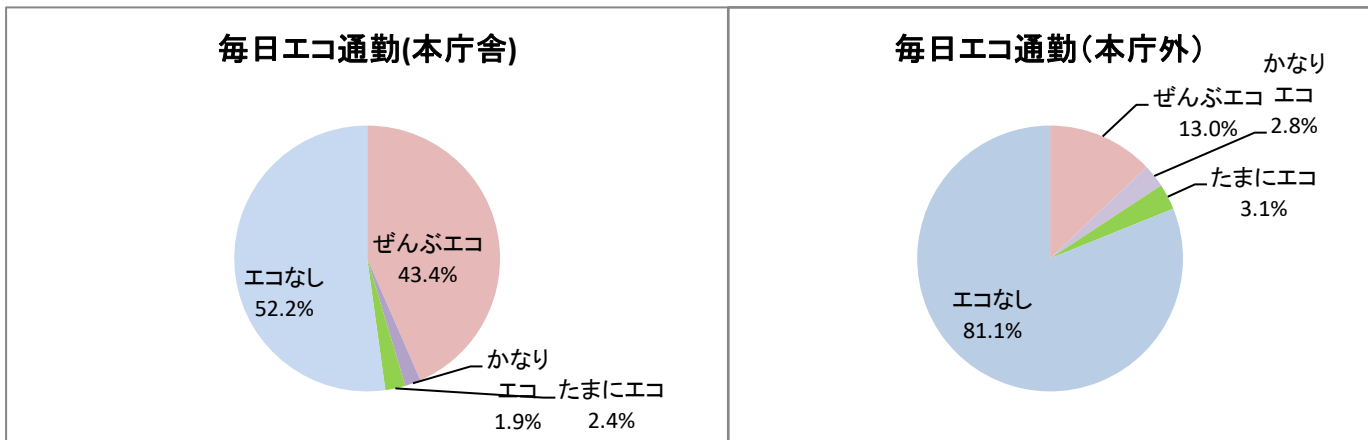
年間を通じて、エネルギー使用量等が増加した施設が多く、グリーン購入率を除く10項目のうち8項目で増加となった。

目標番号	項目	分類	令和2年度	令和3年度	削減率	取組状況
①	グリーン購入率 (%)	市全体	99.9%	99.9%	-	調達の難しいケースや適合物品がない場合を除き、各課でグリーン購入が実施できている。
②	コピー用紙 (千枚)	市全体	30,705	29,659	3.4%	介護保険認定更新等による増加要因があったものの、国勢調査で多かったR2の反動や小中学校における削減が進んだことなどから3.4%の削減となった。
③	燃やせるごみの総排出量 (t)	オフィス	10.9	15.9	-45.9%	新庁舎移転に向けた文書等の廃棄により、全体で45.9%の増加となった。
④	ガソリン使用量 (kl)	市全体	111.9	107.6	3.8%	アクティビレッジおのがコロナにより閉鎖したことで、施設使用量が14.2%削減となった。また、粗大ごみ回収サービスの台数減、道路現場事務所の人員減・雇用形態変更による勤務日数減などにより公用車の使用量が3.2%削減され、全体で3.8%の削減となった。
⑤	軽油使用量 (kl)	市全体	819.5	840.4	-2.6%	交通局では、コロナ禍からの回復傾向により、貸切バスの走行距離が18,390km増加したことから、軽油使用量が23kl増加し、全体で2.6%の増加となった。
⑥	重油使用量 (kl)	市全体	334.7	353.7	-5.7%	西部浄化センターにおいて、施設改修に伴って、使用量が前年より22kl増加したことから、全体で5.7%の増加となった。
⑦	灯油使用量 (kl)	市全体	895.2	963.4	-7.6%	焼却場に搬入される可燃ごみのごみ質低下と設備故障に伴う助燃用使用量増により、全体で7.6%の増加となった。
⑧	都市ガス使用量 (千m ³)	市全体	374.7	441.4	-17.8%	本庁舎における分散勤務・時差出勤による冷房使用時間増、小中学校の空調(ガス式)稼働日数増などにより、全体17.8%増加となった。
⑨	LPガス使用量 (千m ³)	市全体	74.3	84.7	-14.0%	小中学校の登校日増による空調(ガス式)稼働日増、学校給食センター等の使用量増等により、全体で14.0%の増加となった。
⑩	電気使用量 (千kWh)	市全体	30,431.2	31,249.6	-2.7%	体育施設等のコロナ禍の利用制限緩和、西部浄化センター及び各ポンプ場における電動雨水ポンプの使用増などにより、全体で2.7%の増加となった。
⑪	水道使用量 (千m ³)	市全体	442.0	453.6	-2.6%	楠こもれびの郷の温浴施設営業再開、給食センター等における給食調理実施回数増等により、全体で2.6%の増加となった。

【エコ通勤基準】

通勤距離が5キロ以内、または利便性の高いバス路線のバス停やJR路線の駅から1キロ以内に住居がある。

目標番号	項目	その他①	毎日エコ通勤					実施率 令和3年度	実施率 令和2年度	取り組み状況
			エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計	計			
本庁舎	区分		エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計			エコ通勤実施率100%、0%の割合が増えており、両極端な傾向が進んでいる。	
	ぜんぶエコ		100%	247	21	268	43.4%	42.8%		
	かなりエコ		50%以上100%未満	9	3	12	1.9%	2.3%		
	たまたまエコ		50%未満	9	6	15	2.4%	4.8%		
	エコなし		0%	191	131	322	52.2%	50.1%		
			計	456	161	617				
本庁外	区分		エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計	実施率 令和3年度	実施率 令和2年度	本庁舎同様にエコ通勤実施率100%、0%の割合が増えており、両極端な傾向が進んでいる。	
	ぜんぶエコ		100%	89	18	107	13.0%	12.6%		
	かなりエコ		50%以上100%未満	17	6	23	2.8%	3.5%		
	たまたまエコ		50%未満	16	10	26	3.1%	6.6%		
	エコなし		0%	277	393	670	81.1%	77.4%		
			計	399	427	826				



目標番号	項目	その他②	エコ通勤デー				取組状況
			通勤者数	実行者数	実施率 令和3年度	実施率 令和2年度	
	区分						本庁舎では、実施率が45.6%で前年度より増となったが、出先職場では、15.5%と前年度より1.6%減少した。コロナ禍にあつて、感染防止対策の観点からは、公共交通機関の利用促進よりマイカー通勤が優先される状況にある。
	本庁舎		607	277	45.6%	35.3%	
	本庁外		767	119	15.5%	17.1%	
	R3計		1,374	396	28.8%	30.2%	

